

昨日の北海道の地震はいかがでしたか。お見舞い申し上げます。今後1週間程度、同程度の地震が発生するおそれがある様子、雨の多い日々、2次災害のないことを願っております。

さて、前回ご報告しました産業保健アドバイザーの着任、下記のように自己紹介を頂きました。3人寄ればなんとか…というように、少しでもお力になればと、新たな気持ちで参りたいと存じます。仲間が増えて本当に嬉しい限りです。どうぞ宜しくお願いいたします。

◎小野田富貴子産業保健アドバイザーからの自己紹介です。

はじめまして

この度、6月6日より産業保健アドバイザー（両立支援）業務をいたします小野田富貴子と申します。

長い間、企業の産業保健現場で、保健師として社員の健康増進・支援、メンタルヘルス対応等に従事し、今は、上記会社の健康保険組合にて家族と社員の健康支援に携わっております。機構には、火曜日の午後週1回と時間に限りがありますが、皆さまに教えていただきながら、少しでもお役に立てれば幸いです。

梅雨の紫陽花はホントにきれいです！

私の癒しの1つは、愛犬（老犬）と自然の中を散歩することです。

犬も私も前期高齢者になり、不自由を感じることがありますが・・・

筋肉貯金はできるかしらと、毎日8000歩は歩きたいと思うこの頃です。

しかし、雨の日は半分程度、そんな日もあっていいでしょう。と思う小野田です。

どうぞよろしく願い申し上げます。

目次

- 1 相談員便り 専門職としての「自信」と「自省」（田口豊郁相談員）
- 2 【日本産業保健法学会 第3回学術大会のご案内】
- 3 関連情報

1. 相談員便り

* ご快諾有難うございます。

専門職としての「自信」と「自省」（田口豊郁相談員）

岡山産業保健総合支援センター <https://okayamas.johas.go.jp/>

20年ほど前に、家族旅行で永平寺に行きました。その帰りに立ち寄った蕎麦屋さんに「つもりちがい十カ条」という文書が壁に掲げてありました。その言葉が妙に腑に落ち、感銘を受けましたので、そのコピーを分けてもらいました。当時、この十カ条をパソコンの待ち受け画面にして毎日見ていました。その後、パソコンを更新したときに、待ち受け画面にするのを怠り、この文書をしまい込んで忘れていました。1年前に机の引き出しを整理したときにこの文書を再発見しました。この「つもりちがい十カ条」を再読してみて、これらの「つもり違い」は、年齢を重ねた今の私自身にも当てはまると改めて実感しました。

労働安全衛生法には、産業医・衛生管理者など、労働者一人ひとりの健康と安全を確保することを目的とした専門職が規定されています。これらの労働安全衛生に関わる専門職は、働く人たちの対話(コミュニケーション)を武器に仕事を進めています。また、仕事を進めていく上で、生涯を通じた学習の継続とその努力に裏打ちされた専門職としての「自信」が必要です。一方、「自信」と「うぬぼれ」は紙一重です。したがって、専門職には、常に「自省」と「真摯」さ・「謙虚」さが求められます。

「つもりちがい十カ条」は、自己を律し、謙虚に己を見つめ直す言葉と考えます。人とのコミュニケーションを武器に仕事を進める労働安全衛生専門職の人たちにも参考にさせていただければと思います。

つもりちがい十カ条

1. 高いつもりで 低いのが 教養
2. 低いつもりで 高いのが 気位
3. 深いつもりで 浅いのが 知識
4. 浅いつもりで 深いのが 欲望
5. 厚いつもりで 薄いのが 人情
6. 薄いつもりで 厚いのが 面皮
7. 強いつもりで 弱いのが 根性
8. 弱いつもりで 強いのが 自我
9. 多いつもりで 少いのが 分別
10. 少いつもりで 多いのが 無駄

《田口相談員の研修会》 https://okayamas.johas.go.jp/tag/taguchi_toyohiro/

2 【日本産業保健法学会 第3回学術大会のご案内】

*篠原耕一先生情報提供有難うございます。

産業保健を取り巻く環境が大きく変化している中、企業自体も IoT・DX の活用等第四次産業革命により大きく変化しており、産業保健のスコープは必然的に変化すると思われれます。最新の知見を踏まえ、医学系・法学系の各専門家が今後の産業保健制度について議論できるよう鋭意準備を進めています。皆様のご参加をお待ちしております。

大会ウェブサイト (参加登録もこちらへ) <https://jaohl.info/>

■開催方式：ハイブリッド開催

(現地開催・ライブ配信・オンデマンド配信／一部プログラムは配信のみ)

※現地会場：大田区産業プラザ PiO

■会 期：現地開催・ライブ配信 2023年9月16日(土)・17日(日)

オンデマンド配信 2023年10月2日(月)～31日(火)

■統一テーマ：第四次産業革命と産業保健制度

■大会長： 林 剛司

(株式会社日立製作所 産業保健推進センタ長、産業医科大学産業衛生教授)

■参加費：一次登録（5月17日～8月31日）：

会員（個人・賛助）7,000円、学生会員3,000円、非会員10,000円
二次登録（9月1日～10月25日）：

会員（個人・賛助）9,000円、学生会員3,000円、非会員12,000円

■セッション（講演・シンポジウム等）のテーマ例：

第四次産業革命と産業保健制度／イギリスにおける産業保健職と法／AI時代の労働生産性／個人情報について考える／産業保健に関する行政の動向／フランスの産業保健法制度／フリーランスの健康確保と法／化学物質の自律管理の法的責任／外国人労働者の健康管理に係る現状と法的課題／職場における健康情報の取扱い ～法学と産業保健実務の橋渡し～／経営層からみた産業保健／労災認定された精神障害からの社会復帰／人事制度の変化とDX（リモート復職支援の事例より）／災害産業保健と法／裁判所による産業ストレスの認定を検証する

■大会参加申込および大会に関する問合せ先

日本産業保健法学会第3回学術大会事務局 Mail：jaohlsupport@visionbridge.jp

3 関連情報

◇ 厚生労働省▼△新着情報配信サービス から

(1) 産業保健関係助成金の不正受給事案の公表について

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=8xRpdiDKlne7wIZhY>

(2) 令和5年度化学物質管理に係る専門家検討会

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=Wb28q1IWAiHODUjLY>

資料一覧

配付資料

[資料1：労働衛生規則第五百七十七条の二第二項の規定に基づき厚生労働大臣が定める物及び厚生労働大臣が定める濃度の基準等について（概要） \[PDF形式：1.3MB\]](#)

[資料2：濃度基準値の検討の進め方 \[PDF形式：608KB\]](#)

[資料3：本検討会での当面の検討事項と今年度の検討スケジュール \[PDF形式：365KB\]](#)

[資料4-1：令和4年度濃度基準値検討対象物質のうち再審議対象分 \[PDF形式：111KB\]](#)

[資料4-2：濃度基準値設定対象物質リスト（令和5年度） \[PDF形式：152KB\]](#)

[資料5-1：「皮膚等障害化学物質の選定のための検討会」報告書（概要） \[PDF形式：1.3MB\]](#)

[資料5-2：「皮膚等障害化学物質の選定のための検討会」報告書 \[PDF形式：1.6MB\]](#)

(3) 新型コロナウイルス感染症（変異株）の患者の発生について（検疫）

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=YYWGihbDohgSO0fzY>

(4) エムボックスの発生状況について

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=o0Q5JnCaxifrKncxY>

※令和5年5月26日に「サル痘」から「エムボックス」に感染症法上の名称が変更されました。

エムボックスは、1970年にザイール（現在のコンゴ民主共和国）でヒトでの初めの感染が確認された、オルソボックスウイルス属のサル痘ウイルスによる感染症で、中央アフリカから西アフリカにかけて流行しています。国内では感染症法上の4類感染症に指定されています。国内では、2022年7月に1例目の患者が確認され、その後散発的に発生が報告されていましたが、2023年に入り患者の報告数が増加しています。

(5) 麻しんについて

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=VbG302Ia6_6LBoTHY

(6) 新しい時代の働き方に関する研究会 第8回資料

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=tVIvMGaM0DH9hsonY>

(7) 臓器移植の実施状況等に関する報告を行いました

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=c5eUmATRsAoAKVLhY>

(8) 障害者のテレワーク雇用を推進する企業向け相談窓口を開設しました

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=W7--qVAUACPM0nJY>

令和5年度においては、障害者をテレワークで雇用することを検討している企業等を対象に、より気軽にご相談できる窓口を開設しました。情報収集中である、相談事項が明確になっていないといった状況であっても、経験豊富な専門アドバイザーが、他社事例の紹介や課題整理に向けた支援等を行い、受け入れ前から採用、その後の定着まで各段階においてサポートします。

◇ J I L P T から

(1) 2022年の働き方は「コロナ禍を経て、働き方は前進」／民間研究所調査

リクルートワークス研究所は8日、「全国就業実態パネル調査2022」結果を発表した。日本における働き方を5つの側面から分析し、「2022年はコロナ禍を経て働き方が再び前進した1年となった」と総括。「就業の安定」「ワークライフバランス」はともに上昇し、適切な労働時間で休暇取得も可能な働き方の実現に向けて一歩進んだと指摘。「学習・訓練」は、コロナ禍前の水準には至っていないものの回復傾向へ。対して、「ディーセントワーク」は低下傾向が続き、コロナ禍前の水準に戻った。業務量は戻りつつあるなか、労働時間はコロナ禍を経て減少したことで、結果として時間あたりの業務負荷は高まったとしている。

<https://www.works-i.com/research/works-report/item/WorksIndex2022.pdf>

(2) トラック運転手の労働時間等に関する調査結果を掲載／全日本トラック協会

全日本トラック協会は2日、ホームページに「第5回働き方改革モニタリング調査」結果を掲載した。同協会は、2024年度にドライバーの時間外労働時間が年960時間超となる事業者の割合をゼロにする目標を掲げているが、2022年10月時点の状況は、時間外労働（法定休日労働を含まない）が年960時間超のドライバーが「いる」が29.1%で、21年10月の27.1%からわずかだが増加。ドライバー以外の労働者では、年720時間超の労働者が「いる」は11.4%で、21年時よりわずかに低下した。

<https://jta.or.jp/wp-content/uploads/2023/06/hatarakikata2023chosa.pdf>

(3) 女性版骨太の方針2023、女性役員比率2030年までに30%以上等を提案／
政府会議

政府は5日、男女共同参画会議を開き、「女性活躍・男女共同参画の重点方針2023（女性版骨太の方針2023）」（原案）を示した。女性活躍と経済の好循環に向けた取り組みとして、東証プライム市場上場企業では、2025年目途に1名以上の女性役員の選任、30年までに女性役員比率30%以上などの目標を設ける。女性の所得向上・経済的自立の取組の強化では、女性の正社員比率が30歳代以降低下する「L字カーブ」の解消に向けて、長時間労働の是正や、男性の育休取得の推進等の性別役割分担の解消に向けた取り組みを進めるとしている。

https://www.gender.go.jp/kaigi/danjo_kaigi/gijisidai/ka70-s.html

（女性版骨太の方針2023（原案）概要）

https://www.gender.go.jp/kaigi/danjo_kaigi/siryo/pdf/ka70-s-1.pdf

(4) ものづくり企業における能力開発の現状やデジタル化への対応状況などを紹介／
ものづくり白書

政府は2日、「令和4年度ものづくり基盤技術の振興施策」（ものづくり白書）を閣議決定した。製造業の就業者数は、2021年は1,045万人、22年は1,044万人と横ばい。若年就業者数は2012年以降、ほぼ横ばい。製造業における自己啓発を行った労働者の割合は、正社員、正社員以外とも、2019年度から21年度にかけて上昇。ものづくり企業におけるデジタル技術について、「活用している」企業は増加傾向。デジタル技術活用企業の、デジタル技術活用に向けた人材確保の取組は、「自社の既存の人材に対してデジタル技術に関連した研修・教育訓練を行う」が最も多い。なお「第1部 第2章」では、JILPTの調査研究成果が活用されている。

（厚生労働省 Web サイト）

https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/newpage_00125.html

（経済産業省 Web サイト）

<https://www.meti.go.jp/press/2023/06/20230602003/20230602003.html>

（ものづくり白書全体版）

<https://www.meti.go.jp/report/whitepaper/mono/2023/pdf/all.pdf>

▽白書に引用された JILPT の調査研究成果

記者発表「ものづくり産業のデジタル技術活用と人材確保・育成に関する調査」結果
(5月26日)

<https://www.jil.go.jp/press/documents/20220526.pdf>

(5) 令和5年度「輝くテレワーク賞」の募集を開始／厚生省

厚生労働省では、令和5年度「テレワーク推進企業等厚生労働大臣表彰（輝くテレワーク賞）」の応募企業・団体を募集している。同賞は、テレワークの活用により、労働者のワーク・ライフ・バランスの実現を図るとともに、他社の模範となる取組を行っている企業や団体を表彰するもの。

応募期間は、6月6日（火）～7月31日（月）。詳細・応募は特設サイトから。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_33402.html

（「輝くテレワーク賞」特設サイト）

<https://kagayakutelework.jp/award/>

(6) 2022年の男性の育児休業取得率は47.5%、平均取得期間は43.7日／経団連調査

日本経団連は6日、「男性の家事・育児」に関するアンケート調査結果を公表した。

2022年の男性の育児休業取得率は47.5%で、前年（29.3%）から大きく上昇。男性の育休平均取得期間は43.7日で、1カ月以上取得している企業は約6割（59.9%）。男性の家事・育児を促進する上での課題は、「家事・育児と仕事を両立する社員の代替要員の不足」が最も多く（83.5%）、「アンコンシャス・バイアスなど家事・育児と仕事を両立しづらい職場風土」（67.3%）、「長時間労働や硬直的な働き方」（59.4%）が続く。調査は、企業会員を対象に、育児休業の取得状況や「男性の家事・育児」の促進に関する施策内容、今後の課題等について調査したもの。

<https://www.keidanren.or.jp/policy/2023/040.pdf>

(7) 面接で「不適切だと思う質問や発言をされた」のは19.5%／連合調査

連合は5月31日、「就職差別に関する調査2023」結果を公表した。応募書類やエントリーシートで記入を求められたことがあるものとして、「性別」80.5%、「本籍地や出生地に関すること」43.6%、「家族に関すること」37.2%、「生活環境・家庭環境などに関すること」24.8%が続く。採用試験の面接で質問されたことがあるものは、「転勤ができるかどうか」43.3%、「残業や休日出勤ができるかどうか」42.8%、「性別」28.6%、「本籍地や出生地に関すること」28.3%。面接で「不適切だと思う質問や発言をされた」ことがあるのは19.5%で、性別を理由にした決めつけや、恋愛・結婚に関する質問や発言が多いようだとしている。調査は、過去3年以内に採用試験を受けた、15～29歳の男女を対象にしたもの。

<https://www.jtuc-rengo.or.jp/info/chousa/data/20230531.pdf?7008>

◇ ◆【From_M】 から 情報提供有難うございます

◆村本 高史の「がんを越え、”働く”を見つめる」

第15回 ダイバーシティ&インクルージョン ～世代の枠を超えて～

<https://www.gsclub.jp/tips/20846>

◆がん治療の経済的な副作用「経済毒性」にある3つの誤解、金額面だけの問題ではない？ 経済毒性を判断するツールとは 黒田ちはる

https://media.moneyforward.com/articles/8665?utm_source=MEApp&utm_medium=me_web

◆東京都福祉保健局医療政策部

○◀動画▶がん治療と仕事の両立 ～もしも、職場の誰かががんになったら～

(がん患者の治療と仕事の両立支援のための企業向け研修用映像教材)

<https://www.youtube.com/watch?v=FBcxALtrXcg>

○◀動画▶動画でわかる「がん」のこと 広告用30秒動画

https://www.youtube.com/watch?v=bZRdj_c1d4k

○◀動画▶動画でわかる「がん」のこと ①がんという病気について

<https://www.youtube.com/watch?v=5nCEN906gC4>

○◀動画▶動画でわかる「がん」のこと ②がんの予防・検診について

<https://www.youtube.com/watch?v=IT04cla3B9k>

○◀動画▶動画でわかる「がん」のこと ③がん治療と仕事の両立について

https://www.youtube.com/watch?v=_Scc12THDEI

○◀動画▶動画でわかる「がん」のこと ④がん患者の生殖機能温存治療等について

<https://www.youtube.com/watch?v=KvoqHFupncw>

◆厚生労働科学研究費補助金 健康安全確保総合研究分野 労働安全衛生総合研究

202223013A 治療と仕事を両立する患者に対する継続的な支援の実態と方策の検討

<https://mhlw-grants.niph.go.jp/project/165110>

https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/download_pdf/2022/202223013A.pdf

研究年度 令和4(2022)年度

◆令和5年5月

○介護施設の労働者向け転倒防止リーフレット

<https://www.mhlw.go.jp/content/001101745.pdf>

○介護施設の事業者向け転倒防止リーフレット

<https://www.mhlw.go.jp/content/001101744.pdf>

○全産業の労働者向け転倒防止リーフレット

<https://www.mhlw.go.jp/content/001101743.pdf>

○全産業の事業者向け転倒防止リーフレット

<https://www.mhlw.go.jp/content/001101742.pdf>

◆腰痛を防ぐ職場の事例集 [PDF：26,513KB] 67頁 令和5年3月

<https://www.mhlw.go.jp/content/001103538.pdf>

◆自動車運転者の「安全確保の徹底」にご協力をお願いします！ [PDF形式：265KB]

令和5年1月

<https://www.mhlw.go.jp/content/001101329.pdf>

◆日本産業看護学会第12回学術集会 | 2023年10月28日(土)～29日(日)

【会場】静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ

【集会長】畑中純子

<https://jaohn12.yupia.net/>

◆2023年7月6日「睡眠シンポジウム2023」を参加費無料でオンライン開催、
「組織の生産性向上には睡眠改善が一番効果的な理由」をテーマに企業事例や最新の
労働経済学研究を紹介

日時：2023年7月6日(木)13:00～15:00(受付開始12:50～) @Zoomによる配信

参加フォーム：<https://sleep-symposium2023.peatix.com>

株式会社ワーク・ライフバランス

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000065.000052805.html>

◆「多層化が進む健康管理制度を考察する」第3回 参加費 3000円

～各種健診・検診のエビデンスについて～

<https://www.e-bio.co.jp/health-development/health.html#20230826seminar>

https://www.e-bio.co.jp/health-development/pdf/20230826_seminar.pdf

・日時：2023年8月26日(土) 14:00～16:30

・会場とWebのハイブリッド開催 (Zoom ミーティング)

・教育講演「がん検診など各種健診・検診のエビデンスについて」立道 昌幸

◆仕事への自信アップのために、上司が時間を掛けるべきこと

<https://news.yahoo.co.jp/articles/b389498d7e33f20e929b0ba190cb806fd89bfee5>

◆人事労務マガジン定例第153号 | 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_33391.html

<https://www.mhlw.go.jp/content/12600000/001103561.pdf>

小野田 富貴子 (両立支援担当)

fukiko-onoda@honbu.johas.go.jp

中山 篤 (メンタルヘルス担当)

atsui78natsu@gmail.com

菅野 由喜子 (メンタルヘルス担当)

yukikan28@gmail.com